

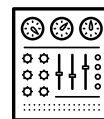
Ensono、Red Hat Ansible Tower で 作業時間を 100 時間以上短縮

ensono®

ソフトウェア

Red Hat® Ansible® Tower

Ensono はインフラストラクチャとプロセスを効率化するため、コミュニティ版の Ansible から Red Hat Ansible Tower へと移行しました。Ansible Tower により繰り返し作業の自動化、管理の一元化、およびチーム間のコラボレーション向上を実現したことで、同社は作業時間を 100 時間以上短縮し、一貫した価値あるサービスをクライアントに提供するための業務に集中できるようになりました。



IT マネージドサービス

従業員数：2000 名以上

「40 台の Linux サーバーと 20 台の Windows サーバーを、およそ 1 時間 25 分で立ち上げました。サーバーはこの時点で既に完全に構成され、デプロイされ、すべての標準ツールが搭載され、クライアントがアクセスできる状態です。Red Hat Ansible Tower がなければ、このような状態のサーバーを提供するまでに数週間は必要だったはずです」

Ensono Linux 担当 リード・インフラストラクチャ・アーキテクト
Mark Bolwell 氏

メリット

- 構成管理データベースのディスカバリーや入力など、手動の繰り返し作業を自動化し、作業時間を 100 時間以上削減
- ロールベースのアクセス制御を利用できる一元的なインフラストラクチャを確立し、サポートスタッフの配置効率を向上したことで、サービス管理プラットフォームの強化を支援
- 標準化により Windows チームと Linux チームのコラボレーションを強化し、重要なプロジェクトの作業をスピードアップ



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

マネージドサービスの効率向上

Ensono は、変化の触媒となることを目指してビジネス変革のためハイブリッド IT の力を活用する IT リーダーに支援を提供する企業です。パブリッククラウドを活用したモダナイゼーションによりアジリティとスケーラビリティの強化を促すことで、デジタル・トランスフォーメーションを促進しています。提供するサービスのポートフォリオは、メインフレームからインテリジェントなガバナンス・プラットフォームを活用するクラウドまで幅広い領域をカバーし、現在の業務と将来へ向けた最適化をサポートします。Ensono は AWS および Azure の認定エキスパートとしての受賞歴があり、Microsoft Datacenter Transformation Partner of the Year に選ばれています。シカゴ広域都市圏に本社を構える Ensono の従業員数は、世界中で約 2,000 名に上ります。

近年、Ensono は M&A により急速な成長を遂げ、新たな会社加わったことでシステムとプロセスが複雑化しました。さらに、Ensono の日常業務には多数のルーチン的な繰り返し作業が含まれていました。具体的には、サーバーの起動、パッチ処理、ファイアウォール管理、アプリケーションのデプロイなどを手作業で行っており、時間がかかるほか、非一貫性やダウンタイムが生じるリスクもありました。

Ensono が主力製品 Ensono Cloud を公開した際、これらの課題はさらに緊急度を増しました。同社のデータセンター・インフラストラクチャで稼働するプライベートクラウドである Ensono Cloud は、クライアントが必要とした際、時間や場所を問わずインフラストラクチャにアクセスできる体制の実現を支援する製品です。この製品に含まれる Ensono modus operandi (M.O.) は、利用する場所やプラットフォームにかかわらず、統一された方法でリアルタイムに IT の状況と管理機能をクライアントへ提供するサービス管理プラットフォームです。

「業務効率を向上するために自動化を導入する必要がありました。Ensono Cloud は完全に自動化されたプラットフォームを目指していたので、この製品の開発をサポートするためにもっと良い方法があるはずだと考えました」と、Ensono の Linux® 担当リード・インフラストラクチャ・アーキテクト Mark Bolwell 氏は語ります。「コストと時間を節約しながら、効率的に作業を進めてミスを防ぐ方法を求めていました。ただ自動化するだけでも速度は向上しますが、正しい成果をクライアントに提供できるようにするため、一貫性を重視していました」

自動化で開発を効率化

コミュニティ版 Ansible の長年のユーザーであり、Red Hat 認定クラウド & サービスプロバイダーでもある Ensono が、Ensono Cloud のサポートに Red Hat Ansible Automation の一部である Red Hat Ansible Tower の採用を決定するまでに時間はかかりませんでした。

「Red Hat Ansible Automation を選んだのは、Red Hat や Red Hat 社員がとても親しみやすかったためです。オープンソースに注力していることも大きな決め手でした」と Bolwell 氏は続けます。「また、Ansible API [アプリケーション・プログラミング・インタフェース]、RBAC および監査機能を使用することで、スピードと効率向上のメリットをお客様に提供するとともに、より速いスピードで価値提供できるようになりたいと考えました」

Ensono では、自動化されたプロセスのほぼすべてを Ansible Tower で管理しており、これには仮想サーバーの作成、構成管理、アプリケーションのデプロイ、継続的デリバリー、セキュリティ保護、コンプライアンス維持、オーケストレーションなどが含まれます。Ansible Tower ダッシュボードは、使いやすい統一されたインタフェースを同社の IT チームに提供します。

「テストラボの構築は Ansible Tower で VMware コマンドを実行して構築し、クライアント向けには AWS (Amazon Web Services) 上でコミュニティ版 Ansible を、オープンソースの API ツールである Terraform と併せて使用しました」と Bolwell 氏は語ります。「また、Ansible を使用して仮想マシンのテンプレートをテストラボで構築してから、すべてのデータセンターに 1 つのスクリプトを使って配信しています」

スピードと一貫性の両立

開発の迅速化と市場投入時間の短縮

Ensono は Red Hat Ansible Tower を使用して多数の手作業を自動化し、新規サービスおよび更新されたサービスの市場投入時間を短縮しました。同社ではルーチン作業の自動化により、チームの作業時間を 100 時間以上短縮できたと推定しています。

- 同社の監視サーバーを利用しやすくするためのファイルの更新には、手動の場合はサーバー毎に 2.5 分を要しましたが、Ansible Tower を使用する場合はサーバー毎にわずか 12 秒でプロセスが完了し、このプロセスの合計時間は 11.75 時間から 2.4 時間に短縮されました。
- 新しい監視製品を起動するためのインストールエージェントおよび構成エージェントのダウンロードのため、従来はサーバー毎に 20 分必要でしたが、Ansible Playbook を使用することで、サーバー毎に 1 分で済むようになりました。
- これまで構成管理データベースの検出と入力には、古い Perl やバッチスクリプトをすべて検出するために 24 - 48 時間必要でした。Ansible Tower によってこのプロセスはわずか 25 分に短縮され、毎晩実行できるようになりました。

Ansible Tower には、新規製品のコンポーネントを再利用して IT スタッフの作業効率を向上するというメリットもあります。Bolwell 氏は次のように述べています。「過去に作ったものを再利用して、サービスをより迅速に提供できるようになりました。また、よりすばやく最新の機能やサービスをクライアントに提供することで、誰もが投資回収の早期化に貢献できます」

この改善による効果の一例として、チームが最近取り組んだ Windows Server 2019 プレリリース版関連の作業が挙げられます。Windows 2016 の実装には 8 週間近くかかりましたが、Windows 2019 の際は、Windows 2016 のインストールで使ったコミュニティ版 Ansible のスクリプトを再利用することで、作業の 90% が 2 日間で完了しました。

Ensono が初めて重要な問題解決のために Ansible Tower を使用したのは、クライアントサーバーのエラーにより、保護されたファイルが公開されてしまったときでした。2 名のエンジニアが 18 時間の作業で 200 台のサーバーの障害を解決しましたが、その後の 2 日間にわたり、エラーは継続しました。そこで同社は、2 時間半ほどで Ansible Playbook の作成とテストを行いました。「さらに次の日は、20 分の作業で済みました」と Bolwell 氏は言います。

管理の単純化

Red Hat Ansible のエージェントレス・アーキテクチャにより管理プロセスが一元化されたことで、Ensono の大規模で多様なクライアント・ポートフォリオの管理が単純化されました。「私たちが使うツールの中でも最速だろうと思います。当社のマネージドサービスでは、多数のファイアウォールやクライアントのアクセス権限を処理しなければなりません。エージェントレス・アーキテクチャを使用すると、変更管理を利用しなくてもよいので、非常に便利です。ファイアウォールのポートを開かなくてもよいので、簡単に迅速になります」と Bolwell 氏は語ります。

ビジュアル・ダッシュボードではロールベースのアクセス制御、ジョブのスケジューリング、視覚的なイベントリ管理を利用できるので、Ansible インフラストラクチャの一元化と制御が容易になり、より効率的な体制でサポートスタッフを配置できるようになりました。

Bolwell 氏は次のように述べています。「ほとんどのマネージドサービス・プロバイダーと同様に、当社にもレベル別のサポートシステムがあり、大部分のタスクはレベル 3 のシニアエンジニアと専門家 (SME) に振り分けられます。当社では Ansible Tower の RESTful API を使用することで、より複雑なタスクを、その分野の専門家ではないスタッフでも担当できるようになりました。これにより、最も多くの時間と労力を必要とするタスクに専門家を配置することができます」

Ensono M.O. は同社のサービス管理プラットフォームです。Ensono Cloud 経由でアクセスすることで、あらゆる場所やプラットフォームでクライアントのマネージドサービスを包括的に一覧できます。「Ensono M.O. は複数のシステムを1つのインタフェースにまとめるので、クライアントがシステムを1つのビューで確認できます」と Bolwell 氏は説明します。「ログオンすると、一箇所で監視とレポートを確認できます。このソリューションは当社の主要な差別化要因となっていますが、これを Ensono Cloud で作る際に Red Hat Ansible Tower が役立ちました」

コラボレーションを容易に

Ansible は複数のオペレーティングシステムで簡単に使えるため、Ensono は異なるチーム間に存在していた障壁を取り除くことができました。現在、同社では Windows と Linux いずれを専門する開発者であっても、より密接に連携し、互いの異なるスキルがもたらすメリットを活用することで、より迅速にプロジェクトを進められます。

「2つのチームが協力することで、活用できる知見のプールが大きくなり、提供できるサービス全般の質が向上しました。これは社内向けと社外向けサービスの両方について言えます」と Bolwell 氏は語ります。

Ensono について

Ensono は、変化の触媒となることを目指してビジネス変革のためハイブリッド IT の力を活用する IT リーダーに支援を提供する企業です。パブリッククラウドを活用したモダナイズーションによりアジリティとスケーラビリティの強化を促すことで、デジタル・トランスフォーメーションを促進しています。提供するサービスのポートフォリオは、メインフレームからインテリジェントなガバナンス・プラットフォームを活用するクラウドまで幅広い領域をカバーし、現在の業務と将来へ向けた最適化をサポートします。Ensono は AWS および Azure の認定エキスパートとしての受賞歴があり、Microsoft Datacenter Transformation Partner of the Year に選ばれています。シカゴ広域都市圏に本社を構える Ensono の従業員数は、世界中で約2,000名に上ります。



RED HAT について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、Fortune 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

0120 266 086
03 5798 8510

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat